

内谷市長の

ゆるやか「クマ

「安心・安全な暮らしへの取り組みと

日頃の備え」



今年も暑い日が続いております。近年は気候変動により、台風やゲリラ豪雨などの大雨災害が激甚化しています。市でも3年前に豪雨災害が発生しましたが、昭和42年の羽越水害以降、国・県の協力のもと、河川堤防の強化や、国直轄ダムである長井ダムの整備を行ってきていただいたこともあり、最小限の被害で済みました。一方災害時は、自分や家族の命は自分たちで守る「自助」、地域でお互いに協力し合い助け合う「共助」が重要となります。この機会に、日頃の備えを再確認いただきましますようお願いいたします。

さて、全国的にクマの被害が続出しており、市内でもクマの目撃が相次いでいます。市では、スマートシティ長井実現事業の一環として、令和3年度からモーシオンセンサーカメラを活用した有害鳥獣対策を行っており、現在17カ所にカメラを設置しています。カメラは動きを感知すると自動で撮影し、画像をAIが有害鳥獣と判断した場合、関係者に連絡が来る仕組みとなっております。この取り組みにより、住民からの

通報がなくなるとクマなどの出没が分かるようになり、出没傾向を分析することで効率的な罠の設置ができるようになりました。さらに罠の確認もカメラでできるため、危険な現地確認が減り、関係者の安全確保にもつながっています。今後もデジタル技術を活用し、市民の皆様の安心・安全な暮らしを実現できる取り組みを進めてまいります。市民の皆様におかれましても、クマが活発に動き回る早朝・夜間の外出時は特に注意する、家の周りに餌になるようなものを置かないといった対策を取り、クマの出没に十分注意いただきますようお願いいたします。

8月は、はたちを祝う会が開催されます。長井市に住み続けながらまたは長井市を離れ、学生生活を送っている方、社会に出ている方、様々な状況で過ごされている皆様が集い、はたちを祝う会に参加いただくことをうれしく思います。若い人たちが「長井っていいところだ」「長井に住みたい」と思えるような、希望あるまちづくりにも今後取り組んでまいります。